

第5学年3組 算数科学習指導案

平成25年12月6日(金) 第5校時
場所 5年3組 教室
指導者 教諭 神谷直典

検 印

- 1 単元名 面積の求め方を考えよう【四角形と三角形の面積】
2 単元について

(1) 教材観

本単元は、直線で囲まれた基本的な図形の面積について、必要な長さを測り、既習の長方形や正方形などの面積の求め方に帰着させ計算によって求めたり、新しい公式をつくり出し、それを求めたりすることができるようにすることを主なねらいとしている。

学習指導要領では、下記の内容にあたる。

B (1) 図形の面積
(1) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。
ア 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。
〔算数的活動〕(1)
イ 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動。

児童はこれまでに、図形の面積の基礎的・基本的な学習をしてきている。4年生では、長方形や正方形の面積を求める際に、 1cm^2 や 1m^2 など単位を学び、それがいくつあるかで広さを数値化してきた。そのときに長方形や正方形の面積の公式を作り出してきている。さらに、縦 0.5cm 、横 2cm の長方形の面積を求めるのに切り取って動かして、変形することで面積を求めるなど、等積変形の基本的な経験を積んでいる。また、平行四辺形や三角形の面積を求める際に、「垂直・平行と四角形」において、長方形を変形させ平行四辺形を作ったり、いくつかの三角形を用いて、長方形や平行四辺形に変形したりするなど、倍積変形についても経験をしてきている。

ここでは、今まで培ってきた知識や技能を使って、新しい公式を生み出したり、それを使って計算で面積を求めたりすることができるようにする。本単元での内容は以下のようなになる。

ア 平行四辺形の面積の求め方

- ・既習の図形を振り返り、これから課題となる平行四辺形や三角形の面積の求め方について、興味・関心を高める。
- ・既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に平行四辺形の面積の求め方を筋道立てて考え、平行四辺形の面積の求め方を具体物や言葉、数、式、図を用いたりして説明できるようにする。

イ 三角形の面積の求め方

- ・既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に三角形の面積の求め方を筋道立てて考え、三角形の面積の求め方を具体物や言葉、数、式、図を用いたりして説明できるようにする。

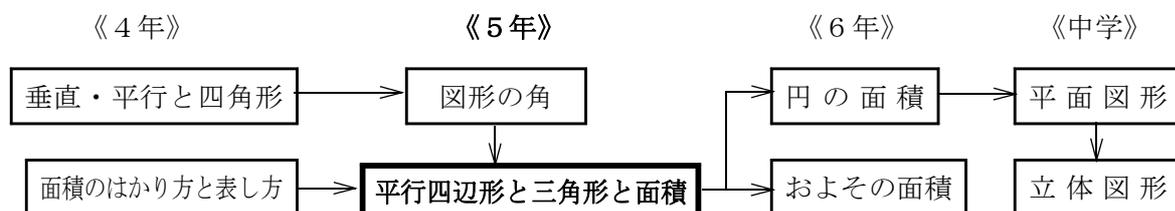
ウ いろいろな形の面積の求め方

- ・既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に、台形及びひし形などいろいろな形の面積の求め方を筋道立てて考え、面積の求め方を具体物や言葉、数、式、図を用いて説明できるようにする。
- ・およその面積の求め方について考え、図形の面積についての理解を深める。

エ 高さとの面積の関係

- ・底辺の長さが一定の平行四辺形の高さを 1cm 、 2cm ・・・と変化させたときの、高さとの面積の関係が「比例」になっていることに気づかせる。

【本単元の学習の関連と発展】

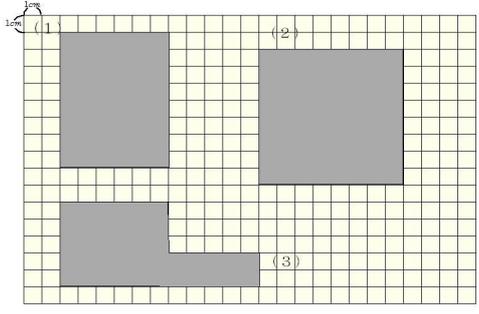
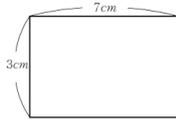
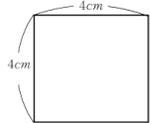
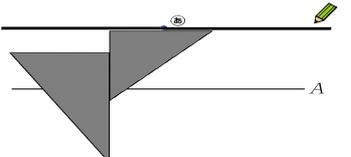
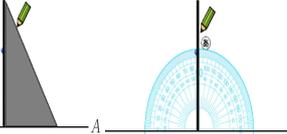
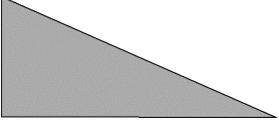


(2) 児童の実態

【レディネステスト】

調査年月日：平成25年11月18日

調査人数：26人

ねらいと問題(解答)	正答率	誤答例及び考察
<p>①【面積は1cm²がいくつ分で表されていることを理解しているか。】 黒くぬった部分の面積は何cm²ですか。</p> <p>(1) 48cm² (式 8×6=48)</p> <hr/> <p>(2) 64cm² (式 8×8=64)</p> <hr/> <p>(3) 40cm² (式 5×6+2×5=40) (式 3×6+2×11=40)</p>		 <p>▲ (2) 誤答 (49cm²) ・横のマスを数え間違えた。</p> <p>▲ (3) 誤答 (無解答) ・立式できず、答えが出せなかった。</p>
<p>②【長方形や正方形の公式を理解し、使うことができるか】 長方形や正方形の面積を求めましょう。</p> <p>(1) 式 3×7=21 答え 21cm²</p> <hr/> <p>(2) 式 4×4=16 答え 16cm²</p>		<p>(1)  (2) </p> <p>・ほとんどの児童が理解している。</p> <p>▲誤答 (21cm) ・単位を混同している。</p> <p>▲誤答 (16cm) ・単位を混同している。</p>
<p>③【平行を理解し、平行線を作図することができるか】 点㊸を通して、直線Aに平行な線をかきましょう。</p> 		<p>▲誤答 (定規による作図) ・作図方法を理解していない。</p> <p>▲誤答 (無解答) ・問題を理解していない。</p>
<p>④【垂直を理解し、垂線を作図することができるか】 次の口にあてはまる数を入れて式を完成させなさい。</p> 		<p>・ほとんどの児童が理解している。</p> <p>▲誤答 (定規による作図) ・作図方法を理解していない。</p>
<p>⑤【等積変形・倍積変形について理解しているか】 右の三角形を2枚つかって、できる図形の名前を全て答えましょう。 (ひっくり返したり、回したりしてもよい)</p>  <p>平行四辺形 長方形 二等辺三角形</p>		<p>・1つ以上の図形に変形することができた。</p> <p>▲誤答 (ひし形、台形、正方形) ・作図せずに考えたため、うまく考えられなかった。</p>

(3) 指導観

本単元では様々な形の面積を求めるのに、既習の知識や技能をつかって面積の求め方を考えたり、公式をつくったりすることを繰り返す。その時に、考えを説明し学び合いを重視することで、数学的な思考力や表現力を育てていく。また、面積の求め方を考える際には、複数の考え方に挑戦するだけでなく、1つの考えを具体物や言葉、数、式、図などで表すことで、より考えを深めるようにしていく。さらに、求積のためにどこの長さを測る必要があるのかを考えさせ、測定する能力を育てていく。

①既習事項を確かめて、本単元の課題を明確にする。

導入ではまず、図形の名称と性質、長方形や正方形の面積を求める公式など、図形に関する既習事項を確認する。その際、長方形や正方形の面積ならば求められるが、その他の図形はまだ未習であることに気づかせる。そうすることで、平行四辺形や三角形、その他の図形の面積の求め方を考える必要性を感じさせ、興味や関心を高めるとともに、求め方の見通しを持たせる。

②既習の知識や技能をつかって、平行四辺形の面積の求め方を考える。

見通しとして、平行四辺形を既習の長方形や正方形に変形することによって、面積が求められることに気づかせる。また、切って動かすなど形を変えても面積は変わらないことを押さえ、等積変形などによって面積を求め、式化していく。さらに面積の求め方を説明する際は、具体物や言葉、数、式、図を用いたりして相手を意識しながら説明する。平行四辺形の面積の公式を出すときは、底辺×高さの「高さ」を平行線の幅として押さえることで、次時の平行四辺形の高さが図形の外にあっても素早く見つけられるようにする。その際、作図が苦手な児童にはマス目を入れた図形を提示し、全ての児童が取り組めるように支援していく。また、底辺は1つではなく、底辺の場所によって、高さも変わることを確認する。

③既習の知識や技能をつかって、三角形の面積の求め方を考える。

三角形の面積も平行四辺形と同様に進めていく。見通しとして、三角形を既習の平行四辺形や長方形、正方形に変形することによって、面積が求められることに気づかせる。また、今回は等積変形だけでなく、倍積変形などの考え方も取り上げていきたい。また、式化して公式を求めたら、底辺×高さ÷2の「高さ」を底辺と向かい合う頂点を通る平行な直線のはばとしておさえ、次時の三角形の高さが外にある場合でも、見通しが持てるようにする。その際、作図が苦手な児童にはマス目を入れた図形を提示し、全ての児童が取り組めるように支援していく。

④既習の知識や技能をつかって、いろいろな形の面積の求め方を考える。

ここでは、台形及びひし形、その他の図形について考えさせていく。台形やひし形の面積の求め方では、等積変形や倍積変形だけでなく、求積可能な図形に分割するなど、さらに考え方を広げていく。その中で、等積変形や倍積変形、分割のよさについても触れていきたい。そして、既習の知識や技能を活かして、様々な形の面積を求める活動に取り組ませていく。

さらに、高さとの関係について考える。平行四辺形の底辺の長さを一定にしたとき、高さを1 cm、2 cm・・・と増やしていったときの高さと面積の関係が比例になっていることに気づかせる。表などにまとめるなどして、自らその特徴に気づかせるようにする。このとき、表に変化の様子を矢印を用いて表すことで、表を右から左に見て「一方が1/2倍、1/3倍・・・になると、もう一方も1/2倍、1/3倍・・・なる」ことに気づかせたり、表を縦にも見られるようにしたりさせていく。

最後に、いろいろな問題に取り組む中で、必要な長さなどの条件がわかり、自ら測定して、面積を計算して求められるようにする。

4 単元の見積

- 平行四角形や三角形の面積の求め方を理解し、それらの面積を求めることができる。
- いろいろな平面図形の内積について、既習の図形の内積の求め方をもとに考えたり、活用したりする能力を高める。

(1) 関心・意欲・態度

- ・平行四角形や三角形などの面積を求めるときに、既習の経験や知識を用いようとする。

(2) 数学的な考え方

- ・既習の内積の求め方をもとにして、平行四角形や三角形などの面積の求め方を工夫して考える。

(3) 表現・処理

- ・平行四角形、三角形などの面積を求めることができる。

(4) 知識・理解

- ・平行四角形、三角形などの面積の求め方を理解する。

5 指導と評価の計画（12時間扱い） 本時7 / 12

時	ねらい ・学習活動	活用する 既習の基礎・基本	評価規準	未到達児童への支援	到達児童への支援
1	<p>平行四角形の面積の求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求積可能な既習の図形を想起し、平行四角形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考える。 ・長方形に等積変形する平行四角形の面積の求め方を説明する。 <p>平行四角形の面積は、長方形（求積可能な図形）に変形すれば、求めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の名称と性質 ・長方形の内積を求める公式 ・正方形の内積を求める公式 	<p>考長方形の求積方法に帰着し、平行四角形の面積の求め方を考えている。</p> <p>◎ 求積方法を考えて、説明できる。</p> <p>関 平行四角形の面積を既習の図形の求積方法と関連づけて工夫して求めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マス目のある平行四角形の用紙を切り取らせることで、等積変形に気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを多様な方法で表現させる。 ・長方形やひし形、正方形は、特別な平行四角形であることに気づかせる。
2	<p>平行四角形の面積の公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四角形の面積を求める公式を考える。 ・公式をつくるには、等積変形した長方形のどこの長さを測ればよいか考える。 ・「底辺」「高さ」の意味を知る。 ・平行四角形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。 <p>「底辺」と「高さ」（2つの平行な直線のはば） 平行四角形の面積＝底辺×高さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形の内積を求める公式 ・平行な直線のはば 	<p>考等積変形した長方形の縦と横の長さに着目して、平行四角形の面積の公式を考えている。</p> <p>◎ 等積変形した長方形の縦と横の長さに着目して、平行四角形の面積の公式をつくることができる。</p> <p>知 平行四角形の面積の求め方を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各辺を色分けした平行四角形を、等積変形することで、変形後の面積を求めるために必要な長さを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四角形の面積を求める公式を使って、やや複雑な面積を求めることにチャレンジさせる。
3	<p>高さが平行四角形の外にある場合でも、平行四角形の面積の公式を適用できることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さが平行四角形の外にある場合の内積の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四角形の面積を求める公式 ・平行な直線のはば 	<p>考高さを表す垂線の足が平行四角形の外にある場合でも、工夫して平行四角形の面積の公式を適用しようと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マス目のある平行四角形の用紙を用意し、底辺を延長することで底辺から垂線を引くことがで 	<ul style="list-style-type: none"> ・倍積変形に挑戦させる。

	<p>高さが平行四辺形の外にあっても公式を使って、面積を求めることができる。</p> <p>「高さ」は底辺とそれに向かい合う平行な直線のはばになる。</p>		<p>している。</p> <p>◎ 底辺をのばし高さを見つけ出すことができる。</p>	<p>きることに気づかせる。</p>	
4 5	<p>三角形の面積の求め方を理解する。</p> <p>三角形の面積を求める公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</p> <p>・三角形の面積の求め方を考える。 ・三角形の面積の求め方を考える。 ・公式をつくるには、倍積変形した平行四辺形のどこの長さが分かればよいか考える。 ・三角形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。</p> <p>三角形の面積は、平行四辺形（求積可能な図形）に変形すれば、求めることができる。</p> <p>「底辺」と「高さ」（底辺とそれに平行な向かい合う頂点を通る直線のはば）</p> <p>三角形の面積＝底辺×高さ÷2</p>	<p>・長方形の面積を求める公式 ・平行四辺形の面積を求める公式 ・平行な直線のはば</p>	<p>考既習の図形に帰着して、三角形の面積の求め方を考えている。</p> <p>◎ 求積方法を考えて、説明できる。</p> <p>表公式を用いて、三角形の面積を求めることができる。</p> <p>◎ 必要な長さを測り、三角形の面積を求めることができる。</p> <p>知三角形の面積の求め方を理解している。</p>	<p>・マス目のある三角形の用紙を切り取らせることで、等積変形や倍積変形に気づかせる。 ・各辺を色分けした三角形を、等積変形や倍積変形をすることで、変形後の面積を求めるために必要な長さを意識させる。</p>	<p>・等積変形、倍積変形を経験させることで、それぞれのよさについて考えさせる。</p>
6	<p>高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式が適用できることを理解する。</p> <p>・高さが三角形の外にある場合の面積の求め方を考える。 ・既習の知識や技能を使って、中学校の問題に取り組む。</p> <p>高さが三角形の外にあっても公式を使って、面積を求めることができる。</p> <p>「高さ」は頂点から底辺におろした垂線の長さになる。</p>	<p>・三角形の面積を求める公式 ・頂点から底辺に垂線を引く</p>	<p>考高さが三角形の外にある場合でも、工夫して三角形の高さを見つけようとしている。</p> <p>◎ 底辺に平行な直線を引くなどして、高さをいくつか見つけ公式を用いて面積を求める。</p>	<p>・マス目のある三角形の用紙を用意し、底辺を延長することで頂点から垂線を引くことができることに気づかせる。</p>	<p>・平行四辺形の学習の高さをいかし、三角形の高さについても複数見つけさせる。</p>
7 (本時)	<p>台形の面積の求め方を理解する。</p> <p>台形の面積を求める公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</p> <p>・既習の面積の求め方を用いて、台形の面積の求め方を考える。 ・いろいろな求め方を説明する。 ・台形の面積を求める公式を考える。 ・台形を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。</p> <p>「上底」と「下底」、「高さ」（上底と下底のはば）</p>	<p>・台形の性質 ・長方形の面積を求める公式</p> <p>・平行四辺形の面積を求める公式 ・平行な直線のはば ・三角形の面積を求める公式</p>	<p>考台形の面積の求め方を考え、説明することができる。</p> <p>◎ 求積方法を考えて、説明できる。</p> <p>関既習の知識や技能を生かし、台形の面積の求めようとしている。</p>	<p>・マス目のある台形の用紙を切り取らせることで、等積変形や倍積変形に気づかせる。 ・各辺を色分けした台形を、等積変形や倍積変形をする。 ・後の面積を求めるために必要な</p>	<p>・等積変形、倍積変形を経験させることで、それぞれのよさについて考えさせる。</p>

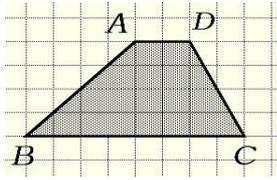
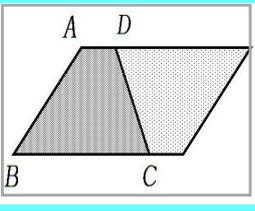
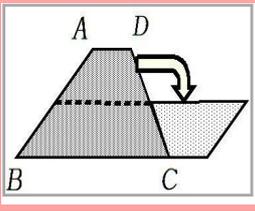
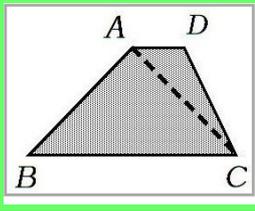
	<p>台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2</p>			長さを意識させる。	
8	<p>ひし形の面積の求め方を理解する。 ひし形の面積を求める公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</p> <p>・既習の面積の求め方を用いて、ひし形の面積の求め方を考える。 ・対角線の長さの積がひし形の面積の2倍になっていることを利用して、ひし形の面積を求める公式を考える。 ・ひし形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。</p> <p>ひし形の面積 = 対角線A × 対角線B ÷ 2</p>	<p>・ひし形の性質 ・長方形の面積を求める公式 ・三角形の面積を求める公式</p>	<p>考 既習の図形の帰着して、ひし形の面積の求め方を考えている。 ◎ 求積方法を考えて、説明できる。</p> <p>知 ひし形の面積の求め方を理解している。</p>	<p>・マス目のあるひし形の用紙を切り取らせることで、等積変形や倍積変形に気づかせる。</p>	<p>・公式に必要な長さについて考えさせる。</p>
9	<p>複雑な形のおよその面積を求めることで、興味や関心を高め、理解を深める。</p> <p>・葉のおよその面積の求め方を考える。</p> <p>方眼を使うことでおよその面積を求めることができる。</p>	<p>・およその数 ・1cm²がいくつ分 ・長方形の面積を求める公式</p>	<p>考 複雑な形の面積は、およその面積で表せばよいことに気づいている。</p>	<p>・葉の内側にすっかり入っている方眼と葉の線にかかっている方眼の数に着目させる。</p>	<p>・葉の線にかかっている方眼の扱いについて考えさせる。</p>
10	<p>平行四辺形の底辺の長さを一定にして、高さを変えたときの面積と高さの関係を理解する。</p> <p>・底辺の長さが5cmの平行四辺形で、高さが1cm、2cm、・・・、6cmと変化するときの面積の大きさを調べる。 ・高さと面積が「比例」ということをおさえる。 ・平行四辺形の高さを□cm、面積を○cm²として面積を求める式を考える。</p> <p>底辺の長さが一定の時、高さが2倍、3倍・・・になると、面積も2倍、3倍・・・になる。この関係を「比例」という。</p>	<p>・平行四辺形の面積を求める公式 ・平行な直線のはば ・比例の考え</p>	<p>考 2つの数量の関係を、表に表したり、□や○を用いた式で表したりして、数量の関係をとらえている。 ◎ 比例する2量の関係について、多様な見方で調べている。</p>	<p>・表に矢印や数を書き込ませることで、変化する向きや大きさを意識させる。</p>	<p>・変化の様子を言葉で表させる。</p>
11	<p>学習内容を確実に身につけ、理解を確認する。</p> <p>・P47「力をつけよう」に取り組む。 ・P48「たしかめよう」に取り組む。</p>	<p>・長方形の面積を求める公式 ・平行四辺形の面積を求める公式 ・三角形の面積を求める公式 ・台形の面積を求める公式 ・ひし形の面積を求める公式</p>	<p>表 学習内容を正しく用いて、問題を解決することができる。 ◎ 必要な長さを測り、面積を求めることができる。 知 基本的な学習内容を理解している。</p>	<p>・今までの学習内容を掲示することで、公式や考え方を活用することに気づかせる。</p>	<p>・既習の内容を用いて、やや複雑な問題にチャレンジさせる。</p>

3 本時の学習（本時 7 / 1 2）

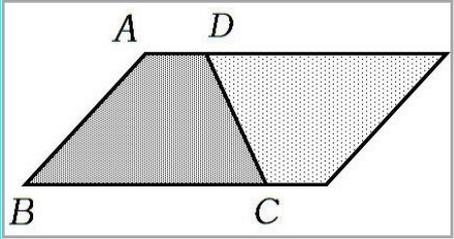
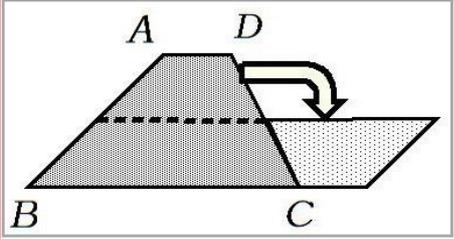
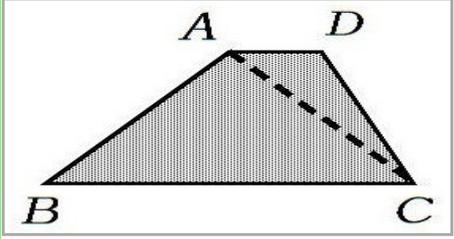
(1) 目標

- 既習の知識や技能を生かし、台形の面積を求めようとしている。（関心・意欲・態度）
- 台形の面積の求め方を考え、説明することができる。（数学的な考え方）

(2) 展開

問題	「台形の面積を求めましょう。」		
課題	台形の面積の求め方を考えよう。		
見通し	台形を2枚使って、考えてみよう。	大きさは変えずに、切って動かして、考えてみよう。	台形を2つに分けて、考えてみよう。
自力解決	<p>C1 倍積変形して考えてみると...</p> 	<p>C2 等積変形をして考えてみると...</p> 	<p>C3 2つに分けて、考えてみると...</p> 
自分で考える・表現する	<p>〈倍積変形〉図形を複数使うことで、既習図形に変形できる。</p> <p>〈等積変形〉切って動かすことで、既習図形に変形できる。</p> <p>〈図形の分割〉図形を分割することで、既習図形に変形できる。</p> <p>〈平行四辺形・三角形の面積の求め方〉 平行四辺形の面積(底辺×高さ)や三角形の面積(底辺×高さ÷2)を求められる。</p> <p>〈平行・垂直の定義や作図〉 平行な直線に垂直に交わる直線の距離をはばという。平行・垂直な直線の作図。</p>		
発表	<p>・図や式を用いて説明</p> <p>C1：倍積変形で平行四辺形にすることで考えた。</p> <p>C2：等積変形で平行四辺形にすることで考えた。</p> <p>C3：台形を三角形2つに分割することで考えた。</p>		<p>・図や言葉で発表させる。</p> <p>・既習のどの知識や技能を活用したのかを明らかにする。</p>
学び合い	<p>話し合い①…求積方法について考えをまとめる。</p> <p>→求積可能な図形に変形する。変形方法(等積・倍積・分割)</p> <p>話し合い②…式から、公式をつくっていく。</p> <p>→式の数値と図を結びつけていく。</p> <p>→言葉の式にまとめていく。</p>		<p>・似ている考えはまとめて、集約していく。</p> <p>・公式にする際は、どこの長さを利用するのがよいか考える。</p>
練習	<p>○今までの学習を振り返り、知識や技能の定着を目指す。</p> <p>(1) 自分の考えを振り返る。</p> <p>(2) 練習問題に取り組む。</p>		
まとめ	<p>○学習のまとめ</p> <p>『台形の面積は、面積を求めることができる図形に変えることで求めることができる。』</p> <p>『台形の面積を求める公式は、「台形の面積=(上底+下底)×高さ÷2」です。』</p> <p>○学習の振り返り</p>		

(3) 自力解決時の場面における児童の見取りと具体的評価規準

予想される児童の反応	反応に対する教師の手立て	具体的評価規準		
<p>C1 台形2枚を使って、倍積変形で考えると・・・</p> <p>【図】</p>  <p>【式】 (平行四辺形の面積の公式) $(8 + 2) \times 4 \div 2 = 20$ 答え 20 cm^2</p>	<p>①式と図と言葉を合わせて説明できるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図に式で用いた数をかき込ませる。 ・図\leftrightarrow式\leftrightarrow言葉を相互に行き来しながら、考えをまとめさせていく。 <p>②式から、公式をつくるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の公式から考えさせる。 ・台形のどこの長さを使ったのかを考えさせる。 <p>③等積変形で考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のやり方でも考えさせる。 	<p>十分に満足できる状況</p>	<p>【考】 求積可能な図形に変形し、台形の面積を求め、説明することができる。</p>	
<p>C2 大きさは変えずに切って、等積変形して考えると・・・</p> <p>【図】</p>  <p>【式】 (平行四辺形の面積の公式) $(8 + 2) \times (4 \div 2) = 20$ 答え 20 cm^2</p>	<p>①式と図と言葉を合わせて説明できるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図に式で用いた数をかき込ませる。 ・図\leftrightarrow式\leftrightarrow言葉を相互に行き来しながら、考えをまとめさせていく。 <p>②式から、公式をつくるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の公式から考えさせる。 ・台形のどこの長さを使ったのかを考えさせる。 <p>④倍積変形で考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のやり方でも考えさせる。 		<p>おおむね満足できる状況</p>	<p>【考】 求積可能な図形に変形し、台形の面積を求めることができる。</p>
<p>C3 台形を2つに分けて、考えると・・・</p> <p>【図】</p>  <p>【式】 (三角形の面積の公式) $8 \times 4 \div 2 + 2 \times 4 \div 2 = 20$ 答え 20 cm^2</p>	<p>①式と図と言葉を合わせて説明できるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図に式で用いた数をかき込ませる。 ・図\leftrightarrow式\leftrightarrow言葉を相互に行き来しながら、考えをまとめさせていく。 <p>②式から、公式をつくるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の公式から考えさせる。 ・台形のどこの長さを使ったのかを考えさせる。 <p>⑤等積変形・倍積変形で考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のやり方でも考えさせる。 		<p>努力を要する状況</p>	<p>【児童の姿】 台形の面積を求めることができない。</p>